

1

Vol.311



迎春



第26回フォトコンテスト入賞作品「どんど焼き」 伊藤 由美子さん（軽井沢町）

年頭のごあいさつ

特集

組合員の負託に応える
JAを目指して

令和7年度 支所（店）運営委員会
主なご意見・ご要望とJAの回答

家庭菜園便利帖

サヤインゲン

今月の知っ得

脳トレ! 手足の体操
手首を鍛える

すまいる JA女性会

みのり塾

今月のレシピ

ハクサイとリンゴの
コールスロー



国消国産
こくしょうこくさん
©みんなのよい食プロジェクト



JA 佐久浅間

年頭のごあいさつ



代表理事組合長
高柳 利道

新年おめでとうございます。組合員の皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、JAの事業運営に対しまして、格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は梅雨明けが全国的に早く、国内の平均気温は観測史上最高を記録する顕著な猛暑となり、人や作物にとって厳しい状況が続きました。この様な厳しい状況ではございましたが生産農家皆様方のご尽力により、安全・安心でおいしい農畜産物を安定的に消費者の皆様に供給することができ、産地としての使命を果たすことができ感謝を申し上げます。

農畜産物取扱高は主力品目である野菜の全国的な豊作基調と輸入野菜が増加し、特に「葉物野菜」が低迷し厳しい販売環境でしたが反面、米価が上昇したことにより、全体の販売金額は

計画・前年比ともに達成することができました。

また、果樹類と水稻につきましても、高温猛暑の影響が心配されましたが品質は良好であり、おいしい農産物を収穫することができました。

お米は「令和の米騒動」の影響が尾を引き、政府が備蓄米を放出するとともに民間貿易による輸入米が増加し、今後の米価への影響が懸念されます。また、生産について政府は「増産」に一旦は舵を切りましたが、あらたな政権が誕生し「コメの需要に応じた生産」へと方向転換が図られることとなりました。生産現場では、

今後の米価や水田政策など不透明さが増しておられます。今後も生産者が希望を持つて農業が続けられ消費者に食料を安定的に供給できる環境となるよう、農政活動を強化して参ります。また、円安や海外情勢の悪化により生産資材価格の高止まりが続き、農業経営を圧迫しております。このことから、当JA独自の「高騰支援対策」も継続させて頂きます。

農政面では「食料・農業・農村基本法」が改正され、本年より5年間が「農業構造転換集中対策期間」に位置付けられました。また、4月1日より「食料システム法」が施行となります。食料の持続的な供給に必要な生産コストが考慮され、農畜産物の適正な価格形成の実現を目指します。

結びに、新しい年を迎え、役職員の奮起はもとより、組合員の皆様のお力添えが何よりも重要です。より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。本年が組合員の皆様、地域の皆様にとっても、年にあやかり大きく飛躍する年になりますよう衷心より祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

特集 組合員の負託に応える

J Aを目指して

令和7年度第1回支所(店)運営委員会 主なご意見・ご要望とJAの回答

10月14日から17日にかけて11会場で第1回支所(店)運営委員会を開き、委員252人(出席率81.6%)が出席しました。

皆さんからいただいた貴重なご意見やご要望を今後のJA運営に反映し、期待に応える事業展開を図ります。

Q 令和6年産米の概算金について

の対応が遅い。生産者からすると、本年の概算金は2万8千円台ということで、それが何年続くか心配である。需給バランス等考え、万が一、米が売れ残ってしまった時の対策も検討してほしい。

A 追加概算金の支払いの遅れについては、昨年は投機目的で米が取引されたり、見通しがつかなかつたこともあります。今年になつて年間の見通しが立つたことから、概算金の追加払いが決まりました。米の需給バランスについてですが、政府備蓄米の放出が70万tあり、この部分はい

ずれ買い入れとなります。今後の政府の減反政策への対応を見極めながら検討していきます。

Q ライスセンター外部委託の理由

と目的は何か。それにより利用者負担は増加するのか。

JA施設運営の効率化および収支改善を図るために進めています。利用料金については、JA施設と同額の利用料となっていますので、外部委託により負担が増すことはありません。

JA施設運営の効率化および収支改善を図るために進めています。利用料金については、JA施設と同額の利用料となっていますので、外部委

託により負担が増すことはありません。

Q 果菜類振興について

JA会員全世代に応えられるサービスやブレ年金層の皆さんにも関心を持つてもらうことで、会員の維持・拡大につながるよう、幅広く利用をいただけるクーポンへ変更させていただきました。会員の皆様より様々なご意見をいただいていますが、今後も利用できる店舗やサービス内容を充実させてまいりますので、ご理解とご利用をお願いいたします。

Q 窓口用タブレット端末機について

JA窓口用タブレット端末機は、貯金者の負担軽減と事務の省力化により窓口での相談業務に注力すること、また利便性の向上を目的に導入いたしました。導入当初は「不便だ」と使用者を教えるため、窓口職員が前に出てきている。端末を座つて使用できるよう、増設できなかつた。

JAの正職員に占める女性割合が31.5%程度と低く、比較的女性の配置が多い支所・店でも管理職の女性割合は24・6%となっています。今後も適格者であれば性別問わず登用していくことを目指します。

Q 子供たちがJAに関わり、思い出がつくれるようなイベントを実施してほしい。

JA地域の未来を担う子供たちに農業の大切さや食の大切さを知つていただくことは非常に重要なと考えております。

これまでにも、農業体験や収穫祭、食農教室など子供たちが参加できるイベントを実施してまいりました。今後も、より多くの子供たちに楽しんでいただけるような企画を検討し、地域の皆様と一緒に思い出づくりができる場を増やしていくことを考えております。

JA地域の未来を担う子供たちに農業の大切さや食の大切さを知つていただくことは非常に重要なと考えております。これまでにも、農業体験や収穫祭、食農教室など子供たちが参加できるイベントを実施してまいりました。今後も、より多くの子供たちに楽しんでいただけるような企画を検討し、地域の皆様と一緒に思い出づくりができる場を増やしていくことを考えております。

JA地域の未来を担う子供たちに農業の大切さや食の大切さを知つていただ

くことは非常に重要なと考えております。これまでにも、農業体験や収穫祭、食農教室など子供たちが参加できるイベントを実施してまいりました。今後も、より多くの子供たちに楽しんでいただけるような企画を検討し、地域の皆様と一緒に思い出づくりができる場を増やしていくことを考えております。

JA地域の未来を担う子供たちに農業の大切さや食の大切さを知つていただ

次世代担う若者育成 実習用農業機械を寄贈



J A共済連長野では、地域貢献活動の一環として実習用の農業機械を贈る取り組みを行っています。11月6日、佐久平総合技術高校浅間キャンパスで浅間キャンパスと臼田キャンパスから要望のあった田植え機や刈払い機、管理機など18点の農業機械を寄贈しました。寄贈式前には、仮想現実(VR)を活用した農作業事故防止の体験学習を実施した他、田植え機械のデモンストレーションも行いました。高柳組合長は「寄贈した農業機械を使い学びを深め、将来の担い手となつて農業を支えてほしい」とあいさつしました。



機械の使い方を確認する生徒ら

假屋崎さんを招き花育セミナー 佐久穂小学校



佐久穂町は10月31日、華道家の假屋崎省吾さんを講師に招き佐久穂小学校で「花育セミナー」を開き、5年生80人とその保護者が参加しました。佐久穂町産花きへの興味を深め、親しみを持ってもらおうと同町は八千穂高原のシラカバの木を加工した花台、当JAはカーネーションを提供し、プードルを模したアレンジメントを制作。假屋崎さんは「生け花は日本の伝統文化。花を親しんでもらい、美しいものを愛でる心を持ち、楽しんでほしい」と話しました。



假屋崎さんから教わる親子

販売額84億円 野菜販売反省会議



あいさつする高柳組合長

当JA野菜専門委員会は11月13日、小諸グランドキヤッスルホテルで野菜販売反省会議を開きました。高温や豪雨、降雹などの影響を受け厳しい情勢の中、市場販売額が10月末時点での前年比91%の84億円となりました。会議は取引市場11社をはじめ、委員やJA関係者ら約80人が出席。担当者が生産販売経過や品目別の販売状況を報告しました。次年度に向けた課題として、生産力の維持拡大や新品目の提案、農業生産工程管理(GAP)の充実などが挙げられました。

発足10周年 信州あさしな99部会



信州あさしな99のメンバーら

佐久市浅間地区でブランド米「五郎兵エ米」などを栽培する担い手生産者グループ「信州あさしな99部会」が発足10周年を記念して12月3日、佐久平プラザ21で記念式典を開催しました。栽培技術の継承や販売活動などを通じて持続的にブランド力を強化しようと平成27年に発足。地域の30~50代の生産者など13人で構成しています。名称の「99」には常に一等米比率99%以上を目指すという願いが込められています。



喜びを語る宮崎さん



受賞者と関係者ら

宮崎国夫さんが金賞 第7回一番うまい米コンテスト



当JAと佐久穂町、米穀専門委員会は12月6日、佐久穂町生涯学習館花の郷・茂来館で「第7回一番うまい米コンテスト」を開催しました。管内で栽培したコシヒカリやゆうだい21、ミルキークイーンなど150点の応募から、金賞に佐久市春日の宮崎国夫さんの「慣行栽培コシヒカリ」が選ばれました。事前審査で5点を選び、最終審査では米食味鑑定士や自治体の首長、一般社団法人おにぎり協会、JA相模原市組合長ら15人が食味や外観、香り、味、粘りなどを評価しました。また、来場者が最終選考の5点を試食し、金賞を予想する企画を実施し50人が参加。的中した13人には「望月高原ヨーグルト」をプレゼントしました。

金賞以外の受賞者は次の通り。(敬称略)

銀賞 岡村 賢治 (佐久市伴野)

銅賞 茂原 邦正 (佐久市跡部)

佐久穂町賞 土佐谷 亨 (佐久穂町海瀬)

来年度に向けて 花き専門委員会反省会議



当JA花き専門委員会は11月26日、佐久グランドホテルで反省会議を開きました。部会員やJA関係者ら91人が出席。担当者が令和7年度の販売実績報告や来年度の取り組みを報告しました。油井進専門委員長は「来年も高品質な花を栽培できるように、しっかりとこの一年を振り返り、課題を克服して、自信をもって栽培に取り組んでいこう」とあいさつしました。終了後は、キク・カーネーション・トルコギキョウの専門部ごとに反省会を開催しました。



あいさつする油井専門委員長

佐久市のお米 おいしさPR トップセールス



令和7年産米を手にする役員ら

当JAは11月18日、本所でお米トップセールスを開き佐久市柳田清二市長をはじめ、東都生活協同組合、東洋ライス株式会社の役員ら約20人が出席。管内産の状況や特徴、米生産の課題などを共有しました。担当者は病害虫の発生が少なく、農薬の使用を抑えた栽培で良食味米を生産できることや立地から首都圏にも配達できることなど説明しました。柳田市長は「さわやか信州を全面にPRし、全面的に支援していきたい」と話しました。

みんなの広場

共通のテーマで皆さんのお声をお届けします

地域に貢献できる農家

立科町桐原

佐藤由也さん（38歳）



2025年、立科町でりんご農家として新たな一步を踏み出しました。新規就農1年目は、多くのお客様に支えられ「美味しいかった」という声に胸が温まる思いでした。また、地元農家の皆さんをはじめ、JAや関係機関の方々からも手厚いご助言とご協力をいただき、無事に1年を重ねることができました。本年はいただいたご縁に感謝し、より丁寧にりんごと向き合いたいと考えています。

季節の移ろいを感じながら、1本1本の木と真摯に向き合い、地域に貢献できる農家を目指してまいります。

みのり塾 担い手養成・リーダー育成 (女性会協賛事業)

JAをよりどころにし、組合員や地域生活者が自発的に学習できる機会、仲間同士の交流を図り、豊かな明るい家庭づくりとみんなで支え合う地域社会づくりの担い手の養成、次世代を担うリーダーの育成を目指し「郷土食・郷土の食と文化を学ぶ」をテーマにみのり塾を開催してきました。



10月 おやきづくり



子どもの食と心のつながりの講話（鷹野禮子氏）をスタートに、全9回（麹のお話、季節の漬け物、鮎の甘露煮・おとうじうどん・おやき・そば打ちなど・・・）盛りだくさんの内容でした。

仕事を通して社会に貢献

佐久市下小田切

井出なる美さん（62歳）



新たな年を迎える今年の目標は、仕事を通して社会に貢献すること。私は、美と健康に関わる仕事をさせていただいております。男性も女性も美しく生きることが大切。見た目も大切ですが、自分のためにも周りのためにも一番は、やはり心が美しくいられることが大事ですね。子供からご年配の方々も笑顔の絶えない世の中であることを願い、心の安定と幸せになるためのサポートをさせていただきます。

心と体のメンテナンス、いつでもお声掛けくださいませ。いつまでも若々しさを保つために。



『JAスマート教室』参加者募集 !!

期日・会場	時 間	内 容
2月4日(水) JA本所 4階会議室	午前 10時～ 午後 2時～	①基本編 (60分) スマホに慣れる、アプリを楽しむ、ほか ②応用編 (60分) アプリのインストール、JAアプリの導入
	午前 10時～ 午後 2時～	③LINE編 (60分) LINEをはじめよう、楽しもう ④応用編 (60分) アプリのインストール、JAアプリの導入

- 参加費 無料
- 定 員 各回20名
- 持ち物 スマホ・筆記用具

お問い合わせ・お申し込み 企画総務部総務組合員課
TEL 0267-68-1112 業務携帯 070-4808-7931まで

今月のテーマ 「今年の目標」



今月のレシピ

ハクサイの季節がやって来た！栄養を逃さずいただきます



ハクサイとリンゴのコールスロー

材料(4人分)

ハクサイ 1/8玉 塩こしょう 15g
リンゴ 1個 オリーブ油 大さじ2
赤タマネギ 1/4玉 レモン汁 大さじ1
ミックスナッツ 15g 砂糖 小さじ1
塩(塩もみ用) 小さじ1 こしょう 少々

ポイント

ハクサイの水分をしっかり絞ると味が薄くならず、おいしく楽しめます。

アレンジ

- ハムなどの具材を追加する
- マヨネーズを加える

作り方

①ハクサイは繊維を断ち切る方向に千切りにし、塩もみしておく。リンゴは千切りに、赤タマネギは薄くスライスして水にさらし、水気を絞っておく。ミックスナッツは粗く刻んでおく。

②ハクサイの水気を絞って、残りの材料を全て加えて混ぜ合わせる。

今月の知っ得 脳トレ！手足の体操

缶遊び体操で手首を鍛える

健康生活研究所所長●堤 喜久雄

お茶やジュースなどが入った缶を使って手首を鍛えてみましょう。
作業前などに適度に手首を動かしておくことで、けがの予防につながります。
体操に慣れてきた方は500mlのペットボトルなどでも挑戦してみてください。

缶遊び体操



- 1 机の上に2本の缶を置き、両手を内側にひねって缶をつかみます。



- 2 つかんだ缶をひっくり返します。1回を10回繰り返します。



- 3 机の上に2本の缶を置き、両手を外側にひねって缶をつかみます。



- 4 つかんだ缶をひっくり返します。3回を10回繰り返します。

※初めは無理をせず、ゆっくりとできる範囲で続けましょう。

教育資金のご相談もJAバンクへ

教育カードローン「Lip+plus」のご案内

- お借入期間 ご家族が学校を卒業するまで
- ご利用限度額 最高700万円

ご利用限度額の中で、必要な時に必要な分だけ何度でもお借入いただける教育ローンです。
入学金や授業料、在学中のアパート家賃、お子さまへの仕送り等にご利用いただけます。

詳しくはお近くの融資取扱窓口まで



花き『栽培の流れがわかる』説明会

- 開催日 1月19日(月)・24日(土)
- 時 間 午前10時~
- 場 所 JA本所4階401会議室
- お申し込み・お問い合わせ
農業経済部 花卉振興センター TEL 0267-68-1116



理事会 12月23日開催

決議事項

第1号議案 出資金減口について

主な報告事項

- ①11月末部門別損益計算書について
- ②令和7年度決算見込みについて
- ③コンプライアンス・プログラム第3四半期取組状況について
- ④第3四半期コンプライアンス関連事案対応状況について
- ⑤反社会的勢力等との取引排除にかかる対応状況報告書について
- ⑥マネロン等の防止にかかる対応状況報告書について
- ⑦取引時確認にかかる口座開設時チェックシートの制定について

各種相談会のご案内

年金相談

- 相談日 2月3日(火) 佐久穂支所 7日(土) 立科支所
14日(土) 小諸支所 17日(火) 佐久望月支所
- 相談役 JA長野信連 社会保険労務士 前田 純
- お申し込み 支所金融窓口または本所金融部
TEL 0267-67-0610 (本所金融部)

農業・就農相談

- 相談日 2月20日(金) 午後1時30分~午後5時
場 所 本所2階201
- お申し込み 農家経営支援対策チーム
TEL 0267-68-1114 FAX 0267-68-1928
お申し込み締め切り 2月13日(金)
※開催日、場所等が変更になる場合があります

ヘルシーテラス佐久南
南九州フェアを開催します

南九州フェアでは、特産の野菜や果物など旬のものを多数そろえてお待ちしております。
詳細はホームページまたはFacebookへ

- 開催日 2月7日(土)・8日(日)
- 時 間 午前9時~ (商品が終わり次第終了)

お問い合わせ

道の駅ヘルシーテラス佐久南 TEL 0267-78-3383
営業時間 午前9時~午後6時



新規栽培者募集!!

ブドウ説明会

- 開催日 1月28日(水)
- 時 間 午後2時~
- 場 所 JA本所4階402会議室
- お申し込み・お問い合わせ
農業経済部 果樹振興センター TEL 0267-68-1115



- ⑧当局への報告を要する事案について
- ⑨第3四半期余裕金運用状況について
- ⑩第4四半期余裕金運用計画について
- ⑪有価証券の購入について
- ⑫JA長野県農業開発基金適用申請について
- ⑬第3四半期購買未収金対策委員会の報告について
- ⑭第3四半期監事監査の実施について
- ⑮内部監査実施状況について

監事会 12月23日 / 報告事項

- ①子会社監査役からの諸報告について
- ②常勤監事からの諸報告について
- ③11月内部監査実施状況報告について

休日・夜間緊急連絡先

営業時間外の連絡時にご利用ください

キャッシュカード・貯金通帳・印鑑の紛失

0120-02-4040

※受付: 月曜~金曜 17時~翌朝8時 土日祝日 24時間

自動車事故 (JA自動車共済)

0120-258-931

※受付: 24時間365日

相談・苦情受付ダイヤル

当JA各事業に関する相談・苦情を受付します

0120-677-882

※時間: 9~17時 土日祝日を除く

令和7年産米の出荷について

令和7年産米の通常買取は、1月23日(金)までに各営農センターまたは事務所へ持込された玄米までとなります。以降に持込された玄米につきましては概算金額が変わりますのでご了承ください。

持込について

- 事前に営農センターへ連絡をお願いします
 - 出荷用紙袋に入れ替えてください
- ※保管期間中の乾燥により量目が切れる場合があります。再度計量をしますので多少余分に持込をお願いします。

■お問い合わせ 各営農センターまたは各事務所へ

さく地区限定 高原のしづく米栽培者募集

あなたも食味の良い米を栽培してみませんか!

さく地区のみなさんで食味にこだわったお米の栽培をしてみたい方を大募集しています。有機栽培で気象災害にも強く、少量でも高品質なお米の栽培に興味のある方はご参加ください。

●日 時 1月21日(水)

午後1時30分~

●場 所 佐久野沢支所2階会議室

■お申し込み・お問い合わせ さく営農センター
TEL 0267-68-1150 (担当: 中山)

NISAの始め方講座

初心者でもわかりやすく資産形成・運用方法を学ぶ講座です。無理なく、少しづつ資産形成を初めて安心できる未来をつくりましょう!

●開催日 2月8日(日)

●会場・時間

会 場	時 間
佐久望月支所 3階 大ホール (佐久市協和2361-1)	午前9時30分~11時30分 受付9時10分~
御代田支所 2階 会議室 (御代田町馬瀬口1791-1)	午後2時30分~4時30分 受付2時10分~

●講 師 吉澤 清志氏

(農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
[NZAM] 投信アドバイザー)

●定 員 各会場先着50名

●参加費 無料

Webでのお申し込みはこちらから⇒



■お問い合わせ 金融部 ライフサポートセンター

TEL 0267-78-5960 またはお近くのJA金融窓口へ

令和7年度 JA共済

小・中学校第69回書道・第59回
交通安全ポスターコンクール

本年度もJA共済連主催の書道・ポスターコンクールが開催され、県下小・中学校から書道18,138点、交通安全ポスター2,891点の作品が寄せられました。管内からは小・中学校41校より書道3,348点、交通安全ポスター442点の作品を出展いただき、多くの作品が入選されました。

JA佐久浅間管内の受賞概要

●書道 (半紙の部)

金賞3名 銀賞3名 銅賞6名

●書道 (条幅の部)

金賞3名 銀賞1名 銅賞1名

●交通安全ポスター

金賞1名 銀賞3名 銅賞7名

●学校賞

佐久市立東小学校(書道)

佐久長聖中学校(交通安全ポスター)

浅科小学校(交通安全ポスター)



詳細はこちら

相続に関する知識を学びませんか

相続に関心をお持ちの方を対象に「相続・遺言セミナー」を開催します。相続や遺言に関する基本的な仕組みや遺言の活用方法を分かりやすくご説明します。

●日 時 2月5日(木)

午前10時~12時

(受付:午前9時40分~)

●場 所 佐久市コスモホール(佐久市下小田切124-1)

●演 題 「円滑な相続の実現のために」

~遺言を活用した相続~

●講 師 長野県信用農業協同組合連合会

F P 1級技能士 宮川 ルリ子氏

●定 員 50名(ご家族の参加も可能です)

※先着順で定員になり次第締め切り

●参加費 無料

ご来場者全員に「エンディングノート」を
プレゼントいたします

■お申し込み・お問い合わせ

金融部ライフサポートセンター TEL 0267-78-5960

またはお近くのJA金融窓口へ



**JA限定
期間限定** 農家の皆様応援 キャンペーン

キャンペーン期間中に
ザクサ液剤 20L入をJAで購入すると
**2L入
ザクサ液剤
プレゼント!**



⑧は三井化学クロップ＆ライフソリューション株式会社の登録商標

JA佐久浅間 ザクサ液剤 農家の皆さま応援キャンペーン

キャンペーン期間: 2026年1月～2026年3月末日まで
予定数量に達した場合は、期間内で終了となります。

商品名	窓口価格(税込)
ザクサ液剤20L入 (+ザクサ液剤2L入)	59,574円

※各営農センターの各種農薬注文書で注文された場合、予約価格となります。

**JAバンクを装った
フィッシングメールに
ご注意ください!**

お客さま情報や利用目的の確認を求めるメールやSMSはすべて詐欺です!!

**このようなメールやSMSを受信した場合には、
本文内に記載しているリンク先へのアクセス・個人情報の
入力は絶対に行わないでください。**

JAバンクでは、「お客さま情報の確認」「取引目的の確認」「口座確認」等と称して
メールやSMSでJAネットバンクへのログインを誘導することは行っておりません。



☑ 実際に確認されたフィッシングメールの件名の例

- お客さま情報等の確認について
- お取引目的等確認のお願い
- お客さまの口座が凍結されました
- 利用停止のお知らせ

※上記のほか、「重要」「緊急」といった不安をあおる表現など、様々な件名が確認されていますのでご注意ください。

⚠ だまされないためには

- 身に覚えのないメールや、本人確認を装った不審なメール、SMSは開封しない
- メールやSMSに記載されたリンク先には安易にアクセスしない
- メールやSMSのリンク先からは、IDやパスワード等の個人情報を入力しない

JAバンクからの正規のメールか判断に悩む場合、だまされてしまった場合には、すぐに口座をお持ちのJA店舗へ連絡し、必要に応じ最寄りの警察署へもご相談ください。

JAバンクでは被害拡大防止に向けて、警察と連携し、店舗やお電話等での「声掛けの徹底」に取り組んでいます。
何卒ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

JAバンク 警察庁



新規就農者を育てたい

佐久市下平尾 萩原 安則さん (74)

佐久市下平尾の萩原安則さんは55aの圃場でスプレーカーネーションを中心にキクやトルコギキョウの栽培に取り組んでいます。

東京で会社員をしていましたが「大好きなカーネーションを育ててみたい」とUターンで長野県農業大学のアグリターン研修を受け、平成11年に就農しました。天敵昆虫やLEDライトを導入してタバコガやアザミウマを防止し、有機栽培や減農薬栽培に取り組み高品質な花を栽培しています。8年前から息子の拓さんにキクの栽培をまかせ、県の農業里親として花農家の育成に力を入れています。

萩原さんは「就農1年目に自分で育てた花が咲いたのを見て涙が出た。この気持ちを多くの人に伝え、新規就農者を育てたい」と話しています。



9月撮影



わたしたちJAグループは、

「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に賛同し、
その達成に向けて、事業・活動に取り組みます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

